

阪神大震災に伴う3日間の活動記録(1995年3月号掲載・加茂克久)

1月17日5時46分 地震発生。

5時50分～6時30分 地震発生直後、東灘消防署北側の住吉東町5丁目の民家が倒壊していたため、現場へ行き、逃げおくれた70歳ぐらいの女性を救出した。

6時30分～ 住吉本町2丁目方面で炎上を確認したため、香西隊員とともに東灘4で現場へ向かう。現場到着後、消火栓を確認したが、結局配管が損傷していたので、水が出なかった。消火活動を諦めて、青木6丁目の現場へ応援に向かった。

6時50分ごろ～22時 青木6丁目の火災現場の西側に部署、東灘13が西側の東部32区4番消火栓に部署して2線放水をしていたので、筒先支援を行った。香西隊員と別行動をとる。青木6丁目の火災現場で、22時ごろまで放水活動を実施していた。

22時30分 東灘本署へ帰署。23時菅原係長の命により、三重県の伊勢市救助隊他4隊の地理案内及び救助活動の支援をした。御影本町方面の救助活動に夜通し従事した。

1月18日6時 18日は、1日中、深江南町及び青木1～30方面の救助活動に従事した。

1月19日6時 1日中、深江本町方面の救助活動に従事した。夜から東灘大隊に復帰する。